

Sometimes
I Think
About Dying

時々、 私は考える

愛おしい空想と

ほろ苦い現実

主演: デイジー・リドリー
監督: レイチェル・ランバート

DAISY RIDLEY

POINT PRODUCTIONS PRESENTS A SAKS PICTURES COMPRODUCTION A FILM BY RACHEL LAMBERT
DAISY RIDLEY "SOMETIMES I THINK ABOUT DYING" DAVID MERRIFIELD PARVESH CHEENA MARCEL LANGEN
EXECUTIVE PRODUCERS JOE PENCE PRODUCED BY DAVID W. MORRIS DIRECTED BY RACHEL LAMBERT
SCREENPLAY BY JESSICA KATZ PRODUCED BY LISA DIAMOND PRODUCED BY MARIELLA VILLA STEVEN HESMAN KYLE EMMETT
PRODUCED BY ALEX SAKS DAISY RIDLEY DAVID W. MORRIS LAUREN BEEVERIDGE PRETTY BEVERIDGE LISA DIAMOND MARIELLA VILLA STEVEN HESMAN KYLE EMMETT
© 2023 HTBW, LLC ALL RIGHTS RESERVED.

A FILM BY RACHEL LAMBERT



Introduction

いつも曇天で淋しく愁いを帯びた町。同僚が繰り広げる当たり障りのない世間話。同じことの繰り返しの毎日。そうした現実から心を閉ざし、“死の空想”の中に自分だけの平穏な世界を構築しているフラン。孤独を飼いならしていた彼女に、ある日転機は訪れる——。

主演を務めるのは『スター・ウォーズ』シリーズで知られるデジー・リドリー。人付き合いが苦手な主人公フランが、恋や仕事仲間との交流をきっかけに少しずつ変化していく様子を繊細な演技で表現し新境地を見せる。さらにプロデューサーとしても名を連ね、一から制作にも携わるという新しい挑戦も果たしている。監督を務めるのは、2023年 IndieWire 誌が発表した《注目の女性監督28人》に選出された注目株レイチェル・ランバート。

絵画のようなフランの空想の世界や静かにゆっくりと時間が流れる町の優美な映像に、遊び心のある音楽がユーモラスな雰囲気をもたらし、どこかおとぎ話のような空気感をまとう本作が描くのは、至極リアルな、不器用で臆病な大人の成長の物語。ひとりが好きだけでも、他者とのつながりを切望する心。自分の安全圏から一歩抜け出そうとするとときに生じる痛み。もがき、時には身動きがとれないほどの孤立感に絶望しながらも、フランがたどり着く先とは——。ほろ苦く、しかし温かい結末に、あなたはきっと“生きることの愛おしさ”を思い出す。

Story

“世界とつながろうともがくときに感じる孤独”
に共感するすべての人を癒す、
不器用な大人のための物語。

人付き合いが苦手な不器用なフランは、会社と自宅を往復するだけの静かで平凡な日々を送っている。友達も恋人もおらず、唯一の楽しみといえば空想にふけること。それもちょっと変わった幻想的な“死”の空想。そんな彼女の生活は、フレンドリーな新しい同僚ロバートとのささやかな交流をきっかけに、ゆっくりときらめき始める。順調にデートを重ねる二人だが、フランの心の足かせは外れないままで——。

主演・プロデュース：デジー・リドリー（『スター・ウォーズ』シリーズ）
監督：レイチェル・ランバート
出演：デヴィ・メルヘジ、パーヴェシュ・チーナ、マルシア・デボニス
脚本：ケヴィン・アルメント、ステファニー・アベル・ホロウィッツ、ケイティ・ライト・リード
原題：Sometimes I Think About Dying
2023 | アメリカ | 英語 | 93分 | 字幕翻訳：リネハン智子 |  | 配給：楽舎
©2023 HTBH, LLC ALL RIGHTS RESERVED.

sometimes-movie.jp

